

## ごあいさつ

平素より大阪信用金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫の経営内容をご理解いただくために、ディスクロージャー誌「DAISHIN DISCLOSURE 2022 ～だいしんの現況～」を作成いたしました。

経営方針や業績、地域貢献活動などを分かりやすくご案内していますので、どうぞご覧ください。

2021年度の大阪経済は、感染症対策の継続的な取り組みやワクチン接種率の上昇などから新型コロナウイルス感染者数は徐々に減少し、緊急事態宣言解除や行動制限の段階的緩和により、経済活動再開への道筋が見え始めました。しかし、世界情勢の混乱による影響から、原油をはじめ素材・仕入価格の上昇や、為替相場の急激な円安進行など、中小企業を取り巻く経済環境は一層厳しさを増しています。

このような中、当金庫はサステナブルな社会(持続可能な社会)の実現を目指し、地域社会やお客さまに寄り添い課題の解決をサポートする伴走型支援に一層力を入れ、2030年の大阪信用金庫SDGs宣言の達成を目指します。

また、DX(デジタルトランスフォーメーション)による事業の効率化、生産性の向上や、様々な支援を必要な時にご提供できるサブスクリプションによるITサービスの構築にも積極的に取り組み、利便性の向上を図るとともに、人と人との関わりを大切にしたい心こもったサービスのご提供ができる信用金庫を目指していきます。

2021年度の業績は、期末の預金残高が2兆6,847億円、貸出金残高が1兆5,670億円となり、業務純益は132億円、当期純利益は86億円となりました。

これもひとえにみなさまの長年にわたるご愛顧・ご支援の賜物と深く感謝しております。

当金庫は、「健康経営優良法人～ホワイト500～」に2年連続で認定されました。

一人ひとりの役職員の健康に留意し、地域やお客さまの課題解決に向け、役職員一丸となり、お客さま目線の経営に一層注力して取り組んでまいります。

これからも地域金融機関として、みなさまにとって愛着のある信用金庫を目指し、その期待に応えてまいりますので、今後ともご支援、ご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

2022年7月

理事長 高井 嘉津義

